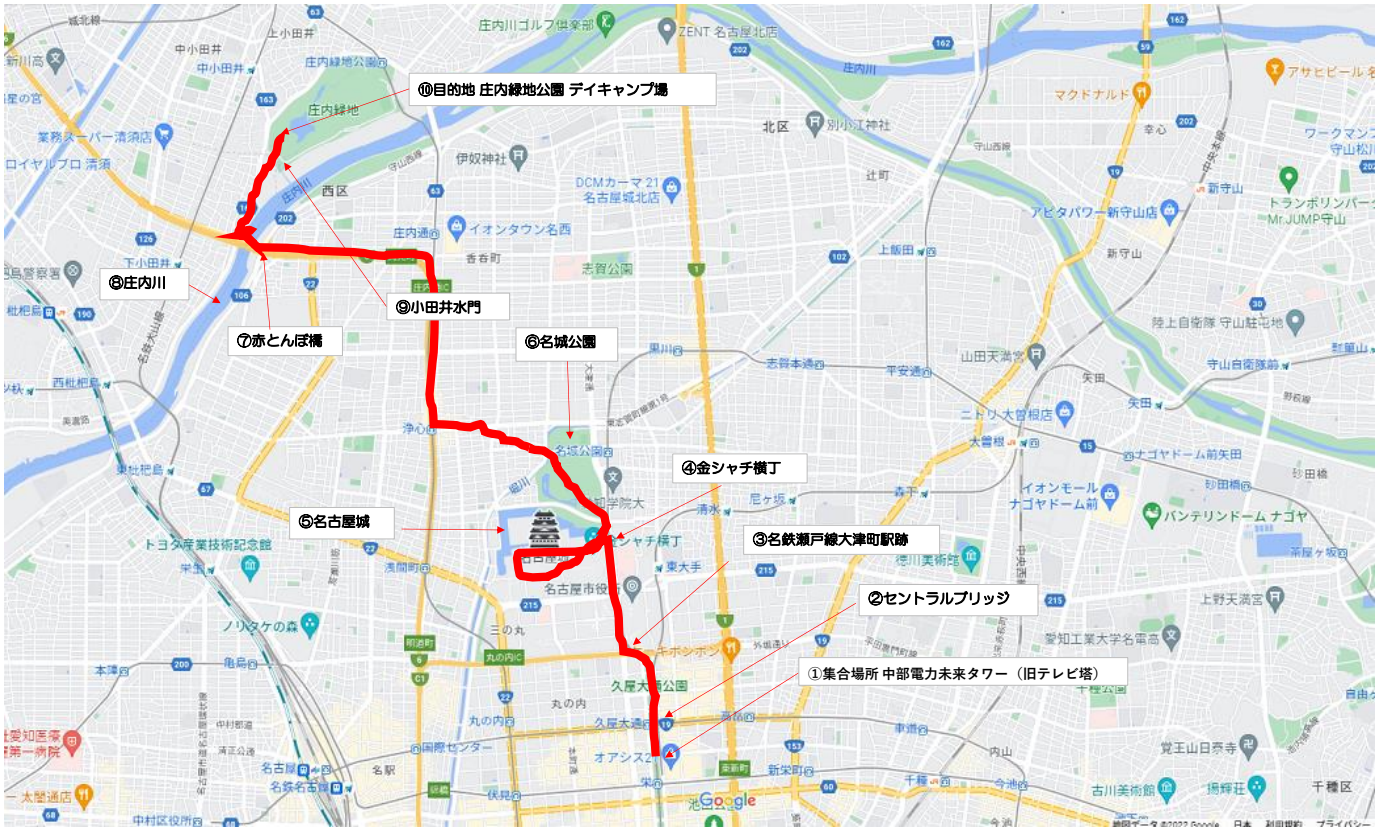


No4 テレビ塔から庄内緑地



①集合場所 中部電力未来タワー（旧テレビ塔） 	中部電力 MIRAI TOWERは昭和29（1954）年に日本で最初に建てられた集約電波塔で、国の登録有形文化財にも認定されている。開業以来初となる全体改修工事を経て、2020年9月にオープン！新たな街のシンボルとして生まれ変わる。	⑥名城公園 	名城公園（めいじょうこうえん）は、名古屋市の名古屋城を中心とした城址公園。名古屋市中区二の丸や三の丸から北區名城にかけて所在する。1931年（昭和6年）に開園した。面積は80.41ヘクタール。約2,800本のサクラが植えられている。
②セントラルブリッジ 	久屋大通りは100m道路とも呼ばれる大きな通りで、公園として利用されている。桜通りと交差するあたりは、テレビ塔・ロサンゼルス広場等があり、地下街とともに市民に広く親しまれている。セントラルブリッジは、この公園内に造られた歩道橋。周囲の環境に調和するように配慮されている。橋名は市民一般からの公募により決定されたもの。	⑦赤とんぼ橋 	庄内川に架かる名古屋高速6号清須線の橋で、赤く塗られたケーブル部分が赤とんぼの羽を連想するところから、多くの市民から寄せられた愛称。橋の本体部分もスマートで、どこから見ても形が整い、橋を渡る際も、とんぼの羽ばたきに遭遇する感覚が味わえる。無味乾燥な土木構造物が多いなか、愛称通りの親しみの持てる存在。
③名鉄瀬戸線大津町駅跡 	大津橋から廃線跡を見下ろすと、コンクリートのテラスが見えます。この構造物こそが、お濠区間最大の痕跡というべき、大津町駅に続く階段跡です。階段入口には柵が設けられ、現在は立ち入れなくなっています。	⑧庄内川 	庄内川は、岐阜県南東部および愛知県北西部を流れ伊勢湾に注ぐ河川。一級水系庄内川の本流である。岐阜県内では、「土岐川」と呼ばれている。岐阜・愛知県境の諏訪大橋から下流の玉野渓谷区間では「玉野川」と呼ばれることもある。
④金シャチ横丁 	2018（平成30）年3月に名古屋城下の2つのエリアにオープンした商業施設。尾張徳川家の初代藩主徳川義直公の名を冠したゾーンで、「伝統・正統」をコンセプトとし、建物は江戸時代の商家を思わせる木造純和風建築。「名古屋めし」と呼ばれる名古屋独自の食文化の店や地元の伝統ある老舗飲食店が並び、「名古屋城金シャチ横丁クッス」や名古屋名物を販売する物販店で購入できる。	⑨小田井水門 	洪水時は閉じておき、川の水位が下がったら、遊水地の中の水を川に戻す施設。
⑤名古屋城 	1612年（慶長17）に完成した天守閣。史上最大級の延床面積を誇った五層五階地下一階の建造物で、城郭としては国宝第一号に指定。1945年（昭和20）、戦災により焼失したが、戦後、市民の寄附により鉄骨鉄筋コンクリート造の建造物として再建。しかし、再建から半世紀が経過し、設備の老朽化や耐震性の確保などに対応するため、現在、閉館。	⑩庄内緑地公園 	庄内川の小田井遊水池を利用し、「水と緑と太陽」がテーマの総合公園。大芝生広場を中心に、花木園、バラ園、水鳥の池、野鳥の森などが広がり、テニスコート、サイクリングロードなどの施設もある。また、園内のグリーンプラザには温室、緑化相談コーナーなどがある。